



蓮

はちすのかおり

香



学校教育目標 “強く、正しく、明るく” 未来を創る明德健児
R7児童会テーマ “ひびけ歌声 元気なあいさつ 明るい心 明德キッズ”

文責：校長 木谷光男



秋田市でただ1校？明德小だけの冬の楽しみ！

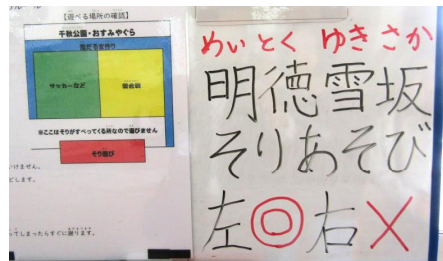


20m近くも滑走できるそり遊びの環境がある学校は、秋田市で明德小学校、ただ1校ではないでしょうか。本校では、グラウンドに向かう階段に、教職員・高学年の子どもたちが力を合わせ雪を集め、坂を作っています。昨年末からの降雪で、冬休み明けの初日、13日（水）からそり遊びを楽しむ子どもたちの姿がありました。

「今日はできるかな？」「やったー。やってもいいんだって。」そり遊びの可否について、児童玄関

にあるホワイトボードで確かめる子どもたちの声が廊下に響きます。「転ばずに進めたよ。」「遠くまで行けたよ。」中には「でこぼこのコースがあるといいな。」と単に滑るだけでは物足りない子どももいました。「校長先生、一緒に滑りましょう。」と誘われると断れず、そりに二人乗り。これにはとても慎重になりました。もし転んで子どもに怪我でもさせたらと思うからです。バランスをとることで、体幹を使うことを自ら感じ、そり遊びが体力づくりに有効であることを確かめることもできました。

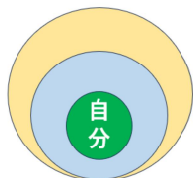
子どもたちの歓声が響いていた雪で作った坂も、春の訪れとともに先週から階段が見え始めてきました。少しでも長い期間と、グラウンドの雪を坂に移動させ、坂の補修を繰り返してきましたが、ついに昨日から使用できなくなりました。1カ月以上にわたり、子どもたちを笑顔にした雪の坂に再び会えるのは11か月後。明德小ならではのよさ、雪の坂を来年も作りたと思います。



「どの席に座りますか？」想像を超えた子どもの答えに！

私とあなたを大切にする距離感について

- 不用意にくっつきすぎずお互いに無理のない距離で過ごして欲しいです



中学校進学に際し、新しい人間関係づくりが必要となる6年生へ、スクールカウンセラーの小松竜平先生から講話をいただく機会がありました。話の中の一つに、「私とあなたを大切にする距離感」についての話がありました。先生は話の前に、子どもたちが普段から距離感を保って生活していることに気付くことができるように、距離感には何も触れずに図を出しながら「初めに●の場所に人が座っていました。入口から入ったあなたはA・B・Cどこの席に座りますか？」

と電車のどの場所に座るか尋ねました。皆さんだったらどこに座りますか。子どもたちの答えはA・B・Cともありましたが、その理由は、何だと思いませんか。想像してみてください。子どもたちの回答の理由は、裏面に記載します。私の想像を超える感動の答えが・・・。

●	A
C	B

入口

Aの主な理由「●の人と顔を合わせない場所だから。」

Bの主な理由「●の人と一番距離がある場所だから。」

Cの主な理由「奥から詰めることで、次に入ってくる人が座りやすいから。」

小松先生は、A・B・C、正しい考えはないと前置きして、AやBは、人との距離感を意識している表れであると話し、距離感についての話題に入っていました。

私は、まだ存在しない人のことにまで思考をめぐらしたCの理由に、心を打たれました。例えば、「席を立つとき椅子を入れる。」これは、これからそこを通るであろう人のことを考えた行動です。日常生活において、目には見えないことや、人の気持ちに思いを巡らした言動がとれる子どもたちを育てるとともに、私自身そのような人でありたいと改めて思いを確かにした瞬間でした。

ハッピーは自分たちの手で！

本校では、キャッチフレーズである「心はずむ、楽しい学校」づくりにつながるように、「毎日がハッピーデー」と銘打って活動しています。その柱と「特別なハッピーデー」も企画してきました。これまで、①入学式②1年生を迎える会③明德運動会④6年修学旅行⑤5年まんたらめ宿泊研修⑥明德マラソン⑦明德発表会について子どもたちのハッピーな様子を学校報を通じて伝えてきました。さらに、5・6年生の委員会の子どもたちが自主的に企画・主催した「ハッピーデー・スペシャル企画」もありましたので紹介します。運営委員会は下記の他、HPの「ハッピーデー」でも紹介しましたが、「健康ウィーク（縄跳びサバイバル、リズムゲーム、玉入れ等）」「ドッジビー大会」を企画しました。



環境飼育「明德小生き物クイズ」

学校の玄関内に暮らすメダカやカメは子どもたちの大好きな仲間です。その仲間に関する問題が出されました。正解するたびに歓声を上げる子どもたちでした。



運営「紙飛行機大会」

運営委員もお手本を示しながら、参加した子どもたちは、遠くまで飛ぶであろう紙飛行機を折りました。願いを乗せた飛行機の飛距離に一喜一憂する子どもたちでした。



図書「読書まつり」

読書や活字への興味を広げてもらおうと本探しスタンプラリーや辞書早引き大会等が企画され、図書室は大賑わいでした。景品のしおりやポストカードをもらい大喜びでした。



保健給食「目の健康を守ろうクイズ」

子どもたちが頻繁に使用する電子機器は目からどの程度離して使用することが好ましいか等、実演を交えた楽しいクイズでした。目の体操も紹介しました。



放送「放送室見学」

放送に興味のある子どもたちが昼の放送の様子を見学しました。機械操作室とインタビュールームを分けるガラスに張り付き、真剣な眼差しで活動を見つめていました。